

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 備前市		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 705-8602 岡山県備前市東片上126	
本票作成	部署名： 市民生活部 環境課 保全係				
主たる業種	分類コード	98	業種名： 地方公務		
事業の概要	地方自治 職員数691人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	備前浄化センター		備前市久々井717-5	
	②	備前市立備前病院		備前市伊部2245	
	③	備前市立吉永病院		備前市吉永町吉永中563-4	
	④	備前市立日生病院		備前市日生町寒河2570-41	
	⑤	クリーンセンター備前		備前市八木山859-4	
	⑥	吉永浄化センター		備前市吉永町吉永中388-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 120 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 30)年度排出量	目標年度(令和 1 年度)
	10,152 t CO ₂	8,680 t CO ₂	9,847 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30)年度排出量
	①	備前浄化センター	1,081 t CO ₂
	②	備前市立備前病院	1,217 t CO ₂
	③	備前市立吉永病院	1,065 t CO ₂
	④	備前市立日生病院	846 t CO ₂
	⑤	クリーンセンター備前	558 t CO ₂
	⑥	吉永浄化センター	449 t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 27 年度 ～ 令和 1 年度 (5 箇年度)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(30) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	14.5 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(30) 年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

機構改革により、備前市総合運動公園等の所管が変更となったため排出量が減少している。また、だいたいの施設で順調に削減が行われている。

【推進体制】

省エネ法に基づき、エネルギー管理統括者及びエネルギー管理企画推進者を定めており、各施設管理者へ26年度作成した管理標準に沿って、全庁を挙げて省エネに努める。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
蕃山荘	(30年度実施分) 蕃山荘では、H30に照明や空調などの改修を実施した。このことから昨年に比べて二酸化炭素の排出量を削減でき、来年以降の削減も見込まれる。
クリーンセンター備前	(今後実施予定分) 焼却設備の燃料を灯油からBDFに変更することで、二酸化炭素の排出量の削減が見込まれる。
備前市役所	(今後実施予定分) H28.6に新庁舎建て替えの方針が示され、R1年度に竣工予定である。このことから、将来の大幅な二酸化炭素の排出量の削減が見込まれる。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	平成20年度に策定された備前市森林整備計画に沿って通年において備前市内の森林保全を行う。
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	平成26年度にバイオディーゼル燃料に関する補助制度を創設し、その利用促進に努めている。
その他	無	

【その他特記事項】

平成21年度に全国で20箇所の環境共生型住宅事業の一つに採択され西鶴山小学校の近くに環境共生型住宅を建設し地域の環境教育及び普及啓発を行い地球温暖化に努めている。
また、県下統一ノーマイカーデーの他に市独自のマイカー通勤自粛運動を5～9月の間の毎日行っている。